

# ボランティア通信 第2号

発行日 平成22年 3月10日  
発行 ボランティア委員会広報係

国立病院機構新潟病院  
連絡先は末尾



## ジャズバンド演奏(慰問活動)

『スウィングブラザーズ・ビッグバンド』演奏会  
去る10月18日(日曜日)に恒例のジャズコンサートが柏崎養護学校体育館で開催されました。入院中のOさんがメンバーとして活動されていたご縁で毎年ボランティアでの演奏においで頂いています。“Fly Me To The Moon”“Just Friend”など全10曲を男性ボーカルの迫力のある歌声と18名の迫力ある演奏で生のジャズを堪能した1時間でした。当日は筋ジストロフィー病棟、重症心身障害児(者)病棟の患者さんと、移動のためのお手伝いボランティアさんなど合計60名の参加者があり本格的な演奏とすばらしい歌声に酔いしれました。バンドの方、移動のボランティアさん沢山の方にお手伝い頂きましたことに感謝します。

## 生け花サークルのご紹介

生け花サークルは、お花を生けてみたい、お花を飾りたい等の希望を持つ患者さんが集まって活動しています。(現在メンバーは5名)毎月第1月曜日10時から、院内にある「希望の家」を会場に池坊華道教授の今井先生が出張して教室を開いています。今井先生が毎月のテーマに沿った四季折々の花材(実費)を用意して、花材の産地、花言葉、花により異なる水揚げの方法等を交えながら、見た人が元気の出るような生け方を教えてくださいます。患者さんは、先生の話聞きながらボランティアさん(毎回3~5名)に花材を希望の長さに切ってもらったり、指定した場所にさしてもらったりと和気あいあいと手助けしてもらいながら段階を踏みながら生けていきます。同じ花材でも個性ある作品が出来上がり、さっそく定例の展示場所に飾ると作品を見た方々より感想が聞かれるのも励みになっています。

紹介:木下保育士



## 患者さんから学ぶ音楽療法



ここ数年、音楽療法という言葉が聞かれるようになってきました。以前は、病気と音楽が共に語られることはなかったのですが、音楽は病気ももたらず身体的・精神的な痛みを和らげることができるのではないかと様々な取り組みが始まっています。1病棟で音楽療法をはじめ5年が経とうとしています。小さな楽器から響く音色に耳を傾け、黙って楽器の音を鳴らし続けている姿から、患者さんには言葉のない「音色」だけを聴きたい時があるということも教えてもらいました。患者さんが生けたお花を前にして発した印象的な言葉があります。「お花から音楽が聴こえてきそう」音楽の好みは人それぞれですが、音楽を楽しめる環境や背景にはあまり差異はないのかもしれませんが、私はその場を提供することでしかお役に立てませんが、患者さんと一緒にいられる時間を大切にしていきたいと思います。

ボランティア: 小黒様

## ふれあい展示

毎年春と秋の2回行っている「ふれあい展示」が去る11月9日～18日に中央廊下を会場に開催されました。患者さんが作業療法の時間に作った作品や絵手紙、生花、手芸サークルなどの趣味活動の成果、養護学校の生徒さんの作品などバラエティーに富んだ作品を多くの皆さんに見ていただく良い機会となりました。活動をお手伝いしてくださっているボランティアさんや職員の作品もあり「〇〇さんにこんな才能が・・・」と意外な一面に触れることもできました。新潟病院の芸術家達の秋が深まった1週間でした。

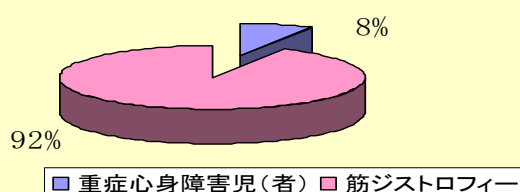
紹介: 吉田主任児童指導員



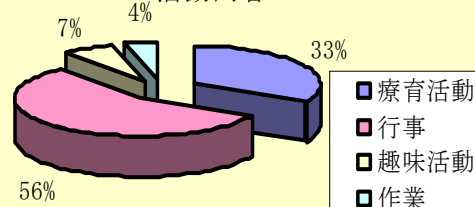
## ボランティアに関するアンケート結果

昨年各病棟にボランティア活動の様子と希望するボランティア活動についてアンケートを実施しました。当院で活動されているボランティアは39名(平成21年12月現在)で筋ジストロフィー病棟での活動が殆どでした。主な活動内容は、行事への参加・療育活動・趣味活動援助・作業などとなっていました。ボランティア保険にはほぼ全員が加入されていました。今後もボランティアさんとのコミュニケーションを図り、ボランティア活動のしやすい病院作りに取り組んでいきたいと考えています。

活動場所



活動内容



## ボランティア募集



問い合わせ先 (担当吉田)  
 新潟病院ボランティア委員会  
 電話 0257-22-2126 (代)  
 FAX 0257-24-9812  
 E-mail: sodan@niigata-nh.go.jp (医療連携相談室)  
 sidositu@niigata-nh.go.jp (療育指導室)

